

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 横浜丸魚株式会社

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩瀬 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	42,954	△3.2	53	180.2	287	12.1	230	△22.7
26年3月期第3四半期	44,366	△1.2	19	△30.0	256	14.7	298	63.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,264百万円 (115.0%) 26年3月期第3四半期 588百万円 (463.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	32.64	—
26年3月期第3四半期	44.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,383	12,439	55.6
26年3月期	17,358	11,248	64.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 12,436百万円 26年3月期 11,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	0.2	120	—	310	14.9	240	△22.1	33.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	7,261,706 株	26年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	187,355 株	26年3月期	183,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	7,075,663 株	26年3月期3Q	6,760,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等の効果を背景に、一部の企業の収益や雇用情勢の改善傾向が見られましたが、一方で急激な円安に伴う原材料価格の高騰などにより実質賃金はマイナス傾向が継続しており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、消費者マインド低迷による節約・低価格志向や競争激化に伴う市場外流通の増加などの影響から、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成26年度から平成28年度まで3カ年の中期経営計画「MMプラン3rd Stage」を策定し、丸魚グループ全体の営業力の底上げ、販売力の強化を図り、また、経営理念であります安全で良質な商品と心を感じるサービスにより、お客様に満足を提供し続けるべく、グループ一丸となって邁進して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は42,954百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,411百万円(△3.2%)の減収となりましたが、経費削減に努めた結果、営業利益は53百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ34百万円(180.2%)の増益となり、経常利益は287百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ30百万円(12.1%)の増益となりました。四半期純利益は前第3四半期連結累計期間に負のれん発生益68百万円を特別利益に計上したこともあり、230百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ67百万円(△22.7%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (水産物卸売事業)

売上高は34,728百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,609百万円(△4.4%)の減収となりましたが、営業利益は54百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ34百万円(173.2%)の増益となりました。

## (水産物販売事業)

売上高は8,032百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ214百万円(2.7%)の増収となり、営業損失は26百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ5百万円(前年同期 営業損失32百万円)の改善となりました。

## (不動産等賃貸事業)

売上高は21百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1百万円(9.1%)の増収となり、営業利益は20百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ2百万円(15.4%)の増益となりました。

## (運送事業)

売上高は172百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ18百万円(△9.6%)の減収となり、営業利益は10百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ6百万円(△39.2%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、22,383百万円と前連結会計年度末に比べ5,025百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,985百万円及び投資有価証券の時価評価等による増加1,623百万円によるものであります。

負債は、9,944百万円と前連結会計年度末に比べ3,834百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3,226百万円及び投資有価証券の時価評価に伴う長期繰延税金負債の増加572百万円によるものであります。

純資産は、12,439百万円と前連結会計年度末に比べ1,190百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加160百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1,033百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月19日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の1株当たり予想当期純利益の計算は、当第3四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,861	2,269
受取手形及び売掛金	3,942	6,927
有価証券	11	—
商品及び製品	1,049	1,811
その他	41	61
貸倒引当金	△483	△544
流動資産合計	7,423	10,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	987	945
土地	771	987
リース資産(純額)	59	93
建設仮勘定	12	2
その他(純額)	65	59
有形固定資産合計	1,895	2,088
無形固定資産		
ソフトウェア	133	241
その他	10	10
無形固定資産合計	144	251
投資その他の資産		
投資有価証券	7,802	9,425
長期貸付金	9	12
破産更生債権等	529	521
その他	68	68
貸倒引当金	△513	△509
投資その他の資産合計	7,896	9,518
固定資産合計	9,935	11,858
資産合計	17,358	22,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,775	6,001
未払法人税等	29	14
引当金	59	14
その他	278	395
流動負債合計	3,143	6,426
固定負債		
役員退職慰労引当金	150	—
退職給付に係る負債	691	651
資産除去債務	30	31
長期未払金	—	145
繰延税金負債	1,802	2,375
その他	292	314
固定負債合計	2,966	3,518
負債合計	6,110	9,944
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	376
利益剰余金	6,241	6,402
自己株式	△102	△103
株主資本合計	8,058	8,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,186	4,219
その他の包括利益累計額合計	3,186	4,219
少数株主持分	3	2
純資産合計	11,248	12,439
負債純資産合計	17,358	22,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	44,366	42,954
売上原価	41,437	40,114
売上総利益	2,928	2,839
販売費及び一般管理費	2,908	2,785
営業利益	19	53
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	171	179
その他	58	47
営業外収益合計	238	238
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	0	3
その他	0	0
営業外費用合計	2	5
経常利益	256	287
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	12	2
負ののれん発生益	68	0
特別利益合計	80	2
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	336	287
法人税、住民税及び事業税	38	58
法人税等調整額	△1	△1
法人税等合計	37	56
少数株主損益調整前四半期純利益	299	231
少数株主利益	0	0
四半期純利益	298	230

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	299	231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288	1,033
その他の包括利益合計	288	1,033
四半期包括利益	588	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590	1,264
少数株主に係る四半期包括利益	△2	0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	36,337	7,817	19	190	44,366	—	44,366
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,753	151	45	94	3,046	△3,046	—
計	39,091	7,969	65	285	47,412	△3,046	44,366
セグメント利益又は損失 (△)	20	△32	18	16	22	△2	19

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、棚卸資産の未実現利益△2百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「水産物卸売事業」セグメントにおいて、川崎丸魚株式会社の株式20,000株を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益1百万円を計上しております。

また、1,745,470株を株式交換により追加取得し、完全子会社としたことに伴い、負ののれん発生益66百万円を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては67百万円であります。

「水産物販売事業」セグメントにおいて、館山丸魚株式会社の株式1,300株を追加取得しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては0百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	34,728	8,032	21	172	42,954	—	42,954
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,847	137	45	92	3,123	△3,123	—
計	37,575	8,169	67	264	46,078	△3,123	42,954
セグメント利益又は損失 (△)	54	△26	20	10	58	△5	53

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、棚卸資産の未実現利益△5百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。